

各種別・専門委員長各位
 地区協会 御中
 OFA 所属チーム関係者各位

一般社団法人大分県サッカー協会
 会長 大場 俊二



新型コロナウイルス感染症に伴う今後の活動について（通知）

標題の件について、令和4年4月14日付けで、大分県スポーツ協会より通知がありました。本県における感染状況の評価は依然「ステージⅢ」のままではありますが、基本的な感染症対策に加え、下記のとおりいたしますので貴委員会・管轄チームへの周知をお願いいたします。

サッカー現場からのクラスターの発生を未然に防いでいくことが今後の活動に大きな影響を与えますので、ご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

記

1. 県外の学校・他チームとの交流(県外へ出向いての練習試合等や招聘しての練習試合等)を認める。
 感染による、公式大会の出場辞退も懸念されることから、その安全性や必要性を慎重に判断した上で実施するとともに、交流先都道府県に制限がある場合はそれを遵守すること。
 県外へ出向いて交流する際は、参加する選手は必要最小人数とすること。
 移動手段としてマイクロバス等を使用する際は、マスクの着用の上、常時換気すること。
 交流前後の健康観察を徹底するとともに、抗原検査センターや抗原検査キット等を積極的に活用すること。また、交流後2日間は感染リスクの低い活動を行うなど、出来るだけ身体接触をさけること。
2. 参加者の健康観察をこまめに行うこと。
 体温計を準備し、体調に異変（発熱に限らず咳、喉の痛み等の風邪症状）がある場合は、躊躇なく計画を中止し、状況に応じて適切に対処すること。
3. 宿泊（県内外を問わず）を伴う場合は、特に以下の事項を徹底すること。
 (1) 宿泊する部屋は個室とし、複数の選手が同室に集まらないこと。
 (2) 宿泊先のホテル等が基本的な感染症対策が徹底されているか事前に確認すること。
 (3) 食堂・浴場等はできるだけ共用を避け、やむを得ない場合は共用場所の分散利用など、感染防止対策に係る計画を詳細に作成した上で、実施状況を必ず指導者が確認すること。
 (4) 食事は対面を避け、黙食を徹底すること。また、それ以外はマスクを着用すること。
4. 大会等開催時は、各競技の感染症ガイドラインを遵守し、感染防止対策を徹底すること。
 ・規模の大小を問わず、感染防止対策を徹底すること。
 ※感染防止対策が徹底できないと判断される場合は、延期や中止等も検討すること。
5. 身体活動中は中央競技団体等が示しているガイドラインを遵守するとともに、身体活動中以外の場面では、必ず「不織布マスクを着用」し「1mを目安とした身体的距離の確保」を徹底し速やかに帰宅させること。
 —身体活動以外の場面（例）—
 (1) 更衣中 (2) 休憩中 (3) 食事中 (4) 帰宅中 (5) 準備や片付けの場面
 (食事是对面を避け、不必要な会話は行わないこと。また、それ以外はマスクを着用すること。)
 (6) 控えベンチ内や補助員として活動する場面(7)ミーティング等や生徒が集まる場面
6. 活動後は直ちに解散し速やかに帰宅すること。また、更衣室・部室等での複数名での飲食はしないこと。

7. 大会参加については、各団体の感染症ガイドライン、及び注意事項を遵守するとともに、陽性者等が出た場合は大会主催者へ速やかに報告し、大会主催者は大分県サッカー協会に報告すること。
8. その他、各地区協会等より通達がある場合はそちらを遵守すること。

以上